自立・敬愛・創造

学びに向かう力を育み、ともに励みあう学校

和田山中学校学校だより　令和３年１２月９日号

１２月になり、朝晩の冷え込みがいっそう厳しくなり、和田山の山の頂には、初雪の便りも見られました。新型コロナウイルス感染者数については、現在も落ち着いてはいますが、年末年始の時期で人の流れが多くなることや新しくオミクロン株が出てきて、国内に拡がる事も考えられ、今後も感染が拡大し、第６波が来る可能性もあります。

生徒たちは、２学期の締めくくりの時期を迎えています。３年生は進路実現に向け放課後の補習などに取り組んでいます。２年生は来年度の生徒会役員改選を迎え、和田山中学校の伝統を継承しながら今まで以上に素晴らしい和田山中学校を創り上げるように頑張っています。１年生は将来どのような道に進むかを考えるため、職業調べに取り組んでいます。

今後も、感染対策をしっかりとりながら工夫を行い、充実した教育活動を進めていけるようにしていきます。保護者の皆様には、今後ともご協力よろしくお願いします。

＜生徒会立会演説会･役員選挙＞

１２月８日(水)に来年度の生徒会三役を決めるため、立会演説会と役員選挙が行われました。今まで３年生が取り組んできたことを継続しながら、新しいチャレンジをしていき、今まで以上に元気で笑顔あふれる和田山中学校を目指し、決意を演説してくれました。みんなで協力し、素晴らしい学校目指して頑張ってください。

生徒会立会演説会･役員選挙の様子

＜第２回避難訓練＞

１２月１日(水)に本年度２回目の避難訓練を実施しました。日本は地震国で最近も富士山の近くや紀伊水道、トカラ列島などで震度５弱を記録する地震が発生しています。今回の避難訓練は火災を想定した訓練でしたが、火災や地震はいつ起きるわからず、避難する時は冷静な行動が必要になってきます。訓練ではありましたが、生徒たちは落ち着いた行動で避難することができました。いつ起きるかわからない災害に対して、行動できることを今後も意識していってください。

避難訓練の様子

※部活動の結果※

陸上競技　但馬中学校総合体育大会　駅伝競走大会(男子)　優勝

第４区 夜久柊真 第１位　第６区 衣川勇太 第１位

第２区 木村海斗 第２位　第５区 小林侑生 第２位

但馬中学校総合体育大会　駅伝競走大会(女子)　第２位

第５区 加藤世菜 第１位　第４区 和田日向 第２位

第２区 西村梨緒 第３位

ｿﾌﾄﾃﾆｽ女子　兵庫県中学校新人大会　団体戦

２回戦　２－１　対平野中(神戸)　準々決勝　２－１　鹿島中(東播)

準決勝　０－２　那波中(西播)　第３位

※文化的表彰の記録※

第４０回全国中学生人権作文コンテスト兵庫県大会地区予選　銅賞　中島陽南

令和３年度防火ポスター　最優秀賞　上垣陽人
優 秀 賞　岡　和希　　中川魁都
入　　賞　垣尾実子　　繁田夢菜

兵庫県幼・小・中造形教育展
入選　吉田絢音　加藤世菜　岡田晴道　細見　煌
藤原成菜　太田海梨　平岡叡人　神谷颯太
小林侑生　小屋敷琥　垣尾実子　加藤瑚雪

＜全国学力･学習状況調査について＞

３年生が５月２７日(木)に行った、全国学力･学習状況調査の結果の成果と課題を分析しました。国語と数学の２教科で５月時点の結果ではありますが、今後の教科指導に活かす取り組みをしていきます。分析結果については次の通りです。

国　語

＜よい内容＞
・書いた文章を互いに読み合い、文章の構成や工夫を考える。　・文脈に即して漢字を読む。
・場面の展開、登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解する。

＜課題のある内容＞
・相手の場に応じて敬語を適切に使う。　・文脈中の語句の意味を理解する。
・文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えを持つ。

＜指導のポイント＞
・内容を要約し、条件を指定した記述問題に取り組む機会を増やすようにしていく。
・敬語を含め広く相手や場に応じた言葉遣い全般について指導を行う。
・自分が発信した情報がどう受け止められるかを想像し、相手の状況や媒体の特性などを考慮して書くように指導していく。

数　学

＜よい内容＞
・四則計算や数量関係。　・角や四角形の性質。　・グラフの意味や代表値。

＜課題のある内容＞
・式を用いた説明において、目的に応じて式を変形させる。
・おうぎ形の成り立ちや、公式の意味の理解。
・関数の定義の理解が不十分であり、言葉として表現すること。
・資料の傾向を読み取り、数学的な表現を用いて説明すること。

＜指導のポイント＞
・数量関係を数学的な見方ができるように図や表を利用して整理し、視覚化させて説明できるような工夫。
・図形の定理や定義、性質などを正しく理解し数学的に表現させるために、具体物を用いた操作活動を授業中に取り入れる。
・関数において、表･グラフ･式の相互の関係を関連付けられるような数学的活動を取り入れる。
・ペア学習やグループ学習において、意見交換を行う中で、生徒同士で気づきがあり問題解決ができるような活動を行う。
・文字を使っていろいろな数量を表現し、それを使って説明するための筋道を予測し考える活動をする。
・全体の度数が異なる資料を比較し、度数分布表やヒストグラムを用いて資料を説明する活動を行う。

総評（まとめ）授業のユニバーサルデザイン化の取り組みを初めて８年目

・生活面においては、安定した基本的生活習慣が見られるが、就寝時刻が不規則な生徒もいる。また、スマホやＳＮＳの利用によって生活習慣のみならず、人間関係のトラブルが多く発生しており、対策が必要である。「いじめは許されない」は、年々高い数値で意識の変化があった。
・学習面では、学習時間の短さが課題となった。また、「自分の思ったことを言葉で表すこと」や「話し合いを生かして、自分を向上させる」ことができておらず、今後の授業や学校生活を充実させていきたい。
・地域行事への参加は多いものの、地域のために何をすべきか考える生徒は多くない。地域に根ざし、地域とともに歩む学校として、今後地域教材の導入や人材を活かした学習について、強力に推進していく必要がある。
・選択肢の中では、「当てはまる」よりも「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」というような消極的な意見が多い傾向にあった。
・今回の学習状況の結果をふまえながら、授業のユニバーサルデザイン化を継続しつつ、生徒の自治的態度や自己教育力の育成をめざして、生徒が社会で力を発揮できるよう、教育実践を重ねていきたい。